

上野の山便り 2019年 4月

桜前線が北上する季節、上野の山は満開で桜一色となりました。皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。

東京五輪の開催が3月12日であと500日を切り、いよいよ来年7月24日から8月9日の開催に迫り、オリンピックとパラリンピックへの期待感が高まってきました。五十五年前、高度経済成長のさなかに開催された前回の東京オリンピックは、成功神話としてよく語られています。一方で、同時に行われたパラリンピックのことは、あまり耳にすることがありません。かつては障がいのある方がスポーツをしたり、社会参画したりすることは考えられない時代だったのです。そこから回を重ね、長い時間をかけてパラリンピックは浸透してきました。こうして世の中の意識が変わってきたことを思うと、感慨深いものがあります。

立夏の前の18日間を春土用^{はるとよう}といいます。今年の立夏は5月6日なので、17日から5月5日までです。期間中の戌の日^{いぬ}(4/19、5/1)に「い」のつくもの(いちご、いんげん、いわしなど)、白いもの(大根、しらすなど)を食べるとよいとされています。

暖かくなったかと思えば急に寒い日が訪れることがあります。風邪などひかれませんように。

- | | |
|---|----------|
| 東京国立博物館・特別展「両陛下と文化交流—日本美を伝える—」
宮内庁所管の皇室ゆかりの作品。展示替えも | ～4/29 |
| 国立西洋美術館・国立西洋美術館開館60周年記念
「ル・コルビュジエ 絵画から建築へ—ピュリスムの時代」 | ～5/19 |
| 国立科学博物館・「大哺乳類展2—みんなの生き残り作戦」
土井ヶ浜遺跡の人骨資料などで研究の歩みを紹介 | ～6/16 |
| 東京藝術大学大学美術館・「藝大コレクション展2019 第一期」
コレクションの多様な側面を紹介し、新しい視点から展示 | 4/6～5/6 |
| 東京都美術館・特別展「奇想の系譜展 江戸絵画ミラクルワールド」
伊藤若冲ら8人の代表作を一堂に。展示替えも | ～4/7 |
| 上野の森美術館・「第37回 上野の森美術館大賞展」
画材や描法も幅広く個性豊かな力のある作品が全国から | 4/27～5/8 |
| 国際子ども図書館・詩と伝説の国—イランの子どもの本 | 前期 ～5/19 |

「ル・コルビュジエ 絵画から建築へ—ピュリスムの時代」

国立西洋美術館で5月19日まで開催中です。20世紀建築の巨匠ル・コルビュジエ(1887-1965)が設計した国立西洋美術館本館は、2016年にユネスコ世界文化遺産に登録されました。開館60周年を記念して開催されている本展は、若きシャルル=エドゥアール・ジャンヌレ(ル・コルビュジエの本名)が故郷のスイスを離れ、芸術の中心地パリで「ピュリズム(純粹主義)」の運動を推進した時代に焦点をあて、絵画、建築、都市計画、出版、インテリア・デザインなど多方面にわたった約10年間の活動を振り返っています。

第一次世界大戦の終結直後の1918年末、ジャンヌレと画家アメデ・オザンファンは、機械文明の進歩に対応した「構築と総合」の芸術を唱えるピュリスムの運動を始めました。そして、絵画制作に取り組みながら新しい建築の創造をめざしたジャンヌレは、1920年代パリの美術界の先端を行く芸術家たちとの交流から大きな糧を得て、近代建築の旗手「ル・コルビュジエ」へと生まれ変わります。

本展はル・コルビュジエと彼の友人たちの美術作品約100点に、建築模型、出版物、映像など多数の資料を加えて構成されています。ル・コルビュジエが世に出た時代の精神を、彼自身が作り出した世界遺産建築の中で体験できるまたとない機会となるでしょう。